

# 社会で生きる、学生時代の金融体験

中学生、高校生、大学生が経済と株式投資について学びながら投資テーマやポートフォリオを  
レポート形式で競うコンテスト「日経STOCKリーグ」。参加経験のあるOB・OGは、  
当時の金融体験はかけがえのないものであり、社会人としての土台になったと口をそろえる。

## VOICE 01 知識を知恵に変える機会

第12回(2011年度)入選チームリーダー(13回時)  
(法政大学 長谷川 幸子)

金融の楽しさを実感

日経STOCKリーグへの参加を通じて金融の面白さを実感し、卒業後は銀行への就職を選びました。専門性をもって業務に生かしたいという思いから、現在は保険会社に活躍の場を求め、自社拠点のガバナンスやリスク管理、内部統制に関する業務に携わっています。将来は全社的なリスク管理を担う立場を目指しており、内部監査に関する国際資格である「CIA(公認内部監査人)」も取得しました。

## VOICE 02 「生きた経済」を学べた

第17回(2016年度)敗戦賞受賞チームリーダー  
(神戸大学 羽森 幸子)

仲間と挑む格好の機会

現在は国立大学の財務部に所属しています。決算や財務諸表の作成、会計システムの管理が主な業務内容です。資金繰りは企業だけの課題ではなく、国立大学も頭を悩ませています。今後は日経STOCKリーグで培った企業選定のノウハウを生かして、大学の財政にも取り組んでいくつもりです。

## VOICE 03 実践的な学びを得るために

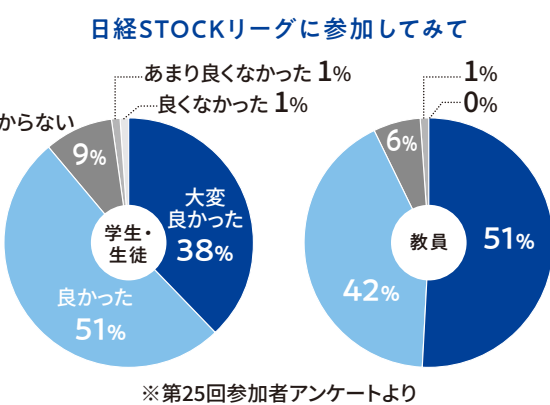
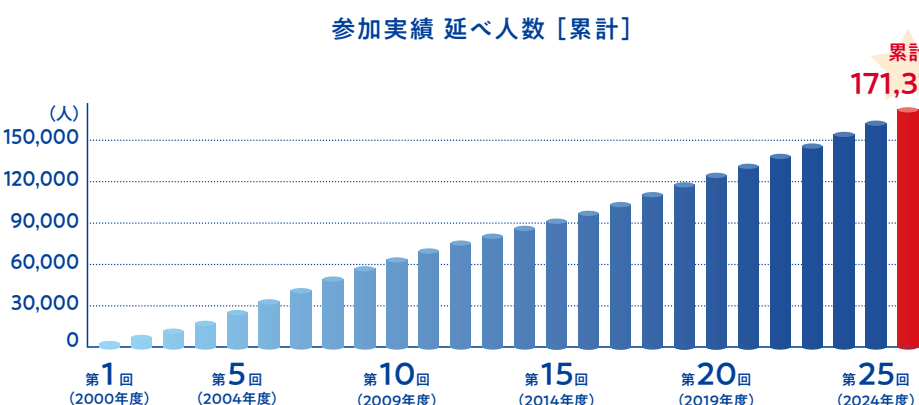
第20回(2019年度)最優秀賞受賞  
(東京大学 首藤 幸子)

最優秀賞に選ばれた決意

世の中には優れた技術や製品を持ちながらも経営の問題に悩んでいる企業が多数あります。学生時代からそのような企業の力になりたいと考えていたので、卒業後はコンサルティングの道に進みました。



4半世紀の歴史をもつ日経STOCKリーグ。参加者は延べ17万人超で満足度も高い



## 着眼点と学びの姿勢に頼もしさ

野村ホールディングス  
執行役員  
サステナビリティ 兼 金融経済教育官  
チーフ・サステナビリティ・オフィサー (CSuO)  
鳥海 智絵氏



野村グループは次世代を担う若者の正しい投資理解を促す目的から、日経STOCKリーグの特別協賛を第1回大会から続けている。累計17万人超が参加し、多くの人が大会での経験を生かして実社会で活躍している。昨今は探究授業の課題として活用いただくケースも増えてきた。教員の皆様にとっても、取り組みやすいプログラムとして発展させたい。

を含めた190名の役職員が参加している。プロの目から見ても、学生・生徒の着眼点が素晴らしく、実務にない気づきが多いと評価している。なにより、学生らが社会課題に関心をもち、楽しんで学んでいる姿勢に頼もしさを感じる。より多くの人が自分自身のお金に向き合い、経済的な選択肢を持てる「ファイナンシャル・ウェルビーイング」を実現できるよう、引き続き金融経済教育の普及に努める。

## 先輩たちの体験談を公開中



現場に足を運び  
実際の困難を知る  
第23回(2022年度)  
部門優秀賞・高校部門  
(神奈川県立相模原  
中等教育学校5年時)  
池田 蒼さん



世界を体感できた  
ニューヨーク研修  
第16回(2015年度)  
最優秀賞  
(愛媛県立松山東  
高等学校1年時)  
杉田 ひな子さん

インタビューの  
詳細はこちら



広告

企画・制作＝  
日本経済新聞社Nブランドスタジオ

特別協賛

NOMURA | 100YEARS

日経STOCKリーグ  
についてはこちら

